

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	別海町		代表者名	曾根 興三	
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	総務部総合政策課	連絡先電話番号	0153-74-9502
担当者役職	主幹	担当者氏名	佐藤 貴也	連絡先E-mail	
住所	086-0205 北海道別海町別海常盤町280番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	別海町統計情報利活用・見える化事業		
概要	データの利活用を通じたEBPMの必要性を認識し、組織としてEBPMに取り組みするための職員研修（EBPM研修）の講師をアドバイザーの方に依頼するとともに、EBPMの考え方に基づいた適切なKPI設定の方法についても、専門的知見から助言をいただきたい。				
支援を求める分野	EBPM				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	347	令和7年1月7日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月30日	講演(実地)	15時00分	16時00分	
				活動時間（分）	60
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子				
評価	大変よい				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本町の抱える課題や今後の展望に対し、事例や講師の経験を交えて的確に回答をいただいた。次年度につながるアドバイスもいただき、引き続き継続的な取組を進めるきっかけとなった。				
アドバイザーへの要望事項					

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	3人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な地域の課題に対し、積極的な政策立案に取り組む体制が薄れてきている状況にある。</li> <li>EBPMの推進については、どのように行えば良いのかが不明な状況となっている。</li> <li>現在、町の指針となる最上位計画である総合計画の見直し作業を行っているが、計画の効果を図るKPIの設定方法等が曖昧であり、EBPMの考え方等に基づく、目標設定の効果的な手法の確立が必要となっている。</li> </ul>				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	個々の職員が統計データ等を利活用したEBPMの考え方を理解し、データに基づく政策立案や行政評価の必要性、有効なKPI設定の知見などを組織全体に浸透させる。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>EBPMの推進に当たり、本町の現状や課題を共有し、職員へのアプローチの方法や今後の推進の方向性について打合せができた。</li> <li>今後の研修会の開催方法等について、細部を詰めることができた。</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織におけるデータの取扱いについて、全職員が一定のリテラシーを確保する方向と、専門的な知識を持つ職員を育成する方向の2パターンを両立させるのが良いと考えられる。</li> <li>任意の職員でEBPMを進めてしまうと、その特定の人に負荷が集中してしまうので、ベースの部分は全員で行い、全体の底上げを行うことが必要。</li> <li>研修への参加では、EBPMという言葉から難しい印象を受けるため、Excelを使った簡単なデータ分析等をテーマにするなど、ハードルを下げると良い。職位ごとに研修内容を分けるのも有効。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>今回はオンラインでのアドバイスのため未実施。</p>	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
4-4. 事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の職員がデータの利活用の重要性や取扱方法を認識し、データを扱うスキルの向上や、EBPMの必要性やEBPMに基づく政策立案の手法について理解する。</li> <li>別海町としてのEBPMの推進方針を定める。</li> </ul>	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

